

# 財団通信

主催者あいさつ

## 言葉は夢を叶える原動力になる



公益財団法人 生涯学習振興財団 理事長 沖永 佳史

発行所 〒632-0814 福岡県糟屋郡三橋町幸見18-2  
公益財団法人 生涯学習振興財団  
TEL 0944-72-5452  
FAX 0944-72-1803  
発行人 理事長 沖永佳史  
編集人 事務局長 井上正明

「高校生小論文コンクール」は、おかげさまで26回目を迎えました。「今こそ大志を語れ」をテーマとする本コンクールは、1999年に当財団の初代理事長であり、帝京大学前学主・沖永荘一博士の発案で誕生しました。日本の将来を担う高校生の皆さんに、心に描いている夢や将来像を言葉にする機会を提供し、「大志を抱き、望む未来に向かって歩んでいくことを応援したい」という願いが込められています。

ご参加いただき、大変うれしく思っております。作品の特徴として、個人部門では、自分の思いと真摯に向き合い、疑問や葛藤を解決すべき課題として捉え、社会や人のために貢献しようとする希望に満ちた作品が多く寄せられました。グループ部門では、地域の課題に着目した作品が多く、調査や実験が丁寧に行われ、チームワークと努力の成果が感じられました。皆さんが小論文で綴った言葉は、夢を叶える原動力になります。ご自身の可能性を信じて社会に羽ばたいていけるよう、心からのエールを送ります。

- | 学校部門  | グループ部門   | 個人部門   |
|---|--|--|
| <p><b>優秀学校賞</b> 大変な熱意を持って継続的に参加された学校</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>福岡県立ありあけ新世高等学校</li> <li>学校法人椋山女学園 椋山女学園高等学校</li> <li>学校法人信愛学園 浜松学芸高等学校</li> </ul> | <p><b>最優秀賞</b> aroma project ハーブウォーターの活用について</p> <p>福岡県立八女農業高等学校 3年</p> <p>下川瑞生さん 塚本秋穂さん 西嶋琳花さん</p> <p>室園心杏さん</p> <p><b>優秀賞</b></p> <p>ミニトマト生産・販売における食品ロス低減への取り組み</p> <p>愛知県立安城農林高等学校 1・2年</p> <p>加藤晶久さん 小林奨真さん 外山菜月さん</p> <p>石川瑠菜さん 岸上洪喜さん 内田香蓮さん</p> | <p><b>沖永荘一博士記念大賞 (最優秀賞)</b></p> <p>心に木を植える</p> <p>この手で拓く！地域と私の可能性</p> <p>熊本県立南校高等学校 2年 原口煌人さん</p> <p><b>優秀賞</b></p> <p>家庭から始める水資源保護と温暖化対策</p> <p>愛知県立安城農林高等学校 1年 内田香蓮さん</p> <p><b>読売新聞社賞</b></p> <p>伝統産業を次世代へ</p> <p>学校法人聖心女子学院 札幌聖心女子学院高等学校 3年 伊藤理央さん</p> |

全国267校の高校からの応募と、二万二千人近い応募から

この小論文コンクールは、基本テーマを「今こそ大志を語れ」として、沖永荘一前理事長の提唱である、「一人でも多くの現役高校生に、それぞれの夢を語っていただく」という趣旨ではじめられ、この度26回を迎えた。コンクールは、個人部門とグループ部門に分けられ、自分の未来や人生の夢、目標という身近なことから、福祉、教育問題、環境問題等の社会的提言に至るまでジャンルを問わず、文章で綴る作品を募集している。

募集は10月末日に締め切り、全国から一万一千人近い応募をいただいた。審査の結果は上記のとおりです。

審査は、11月に予備選審査を経た後、最終審査は12月1日に柳川市の白柳荘で行われ、中沢紀子帝京大学文学部教授を委員長に、海老井悦子福岡県前副知事、森山良一福岡県教育委員会元教育長、深江一美福岡県教育庁教育振興部高校教育課指導主事、川浪康裕読売新聞西部本社編集局文化部長の各委員の活発な討議のもとで行われ、各賞受賞者が選ばれた。

# 第26回高校生小論コンクール受賞者

## 個人部門

### 沖永荘一博士記念大賞(最優秀賞)

心に木を植える

(この手で拓く!地域と私の可能性)

熊本県立南陵高等学校 2年

原口煌人

### 優秀賞

家庭から始める水資源保護と温暖化対策 ミミズコンポストの可能性

愛知県立安城農林高等学校 1年

内田香蓮

### 読売新聞社賞

伝統産業を次世代へ

学校法人聖心女子学院札幌聖心女子学院高等学校 3年

伊藤理央

### 優良賞

Education is the only solution

福岡県立明善高等学校 1年

平松咲希

縁と恩を紡ぐシマ

広島県立広島教智学園高等学校 2年

井戸彩名

自分のもう一つのアイデンティティ

学校法人桐蔭学園桐蔭学園高等学校 3年

川北利希

大志と弁護士

学校法人創価学園創価高等学校 3年

池田大輝

### 奨励賞

私の夢

福岡県立筑紫丘高等学校 1年

ここからからだを支える

学校法人盈進学園 盈進高等学校 1年 貞信優奈

未来への一歩、雇用創出と農業の結び付き

福岡県立八幡高等学校 2年 山田裕貴

創業で命を救う

福岡県立明善高等学校 1年 吉田新菜

看護と支え合う未来

東京都立南多摩中等教育学校 2年 遠藤有華

心の栄養

広島県立広高等学校 2年 猪野真央

助けあえる未来のために

兵庫県立農業高等学校 3年 江本夏乃風

難民問題解決のために

宮崎県立宮崎大宮高等学校 2年 税田紗永

心を救える小説で恩返しを

学校法人創価学園創価高等学校 3年 前谷正美

将来の夢

学校法人関西学院関西学院高等部 3年 安富瑠夏

いつか来る別れのために

佐賀県立小城高等学校 2年 山口瑠璃

憧れを永遠に

岡山県立西大寺高等学校 2年 大村龍輝

「ちり積も回収」で知った共助の心

学校法人柳井学園柳井学園高等学校 2年 中島結良

あの香りと私の夢

学校法人北越高等学校 2年 今井結

## 学校部門

### 最優秀賞

aroma project

ハーブウォーターの活用について

福岡県立八女農業高等学校 3年

下川瑞生・塚本秋穂・西嶋琳花・室園心杏

### 優秀賞

ミニトマト生産・販売における

食品ロス低減への取り組み

愛知県立安城農林高等学校 1・2年

加藤晶久・小林奨真・外山菜月・石川瑠菜・岸上洪喜・内田香蓮

### 優秀学校賞

大要な熱意を持って継続的に参加された学校

○福岡県立ありあけ新世高等学校

○学校法人椋山女学園 椋山女学園高等学校

○学校法人信愛学園 浜松学芸高等学校

### 学校賞

前年に引き続き全体的に継続的かつ積極的に取り組まれている学校。及び、新規挑戦された学校。

【東京都】学校法人明星学苑 明星高等学校・学校法人東亜学園高等学校

【京都府】京都市立堀川高等学校

【大阪府】学校法人桃山学院 桃山学院高等学校

【奈良県】学校法人西大和学園 西大和学園高等学校

【兵庫県】神戸学院大学附属高等学校

【福岡県】福岡県立久留米高等学校・学校法人不知火学園 誠修高等学校・福岡県立筑紫丘高等学校・福岡県立伝習館高等学校・福岡県立福岡工業高等学校・福岡県立福岡高等学校・福岡県立三池高等学校・福岡県立武蔵台高等学校・福岡県立八幡高等学校・福岡県立山門高等学校・福岡県立八女高等学校

【鹿児島県】鹿児島県立鶴丸高等学校

(敬称略・順不同)

## グループ部門

# 受賞して思っている

熊本県立南陵高等学校  
総合農業科(環境コース) 2年

原口 煌人さん

この度は「沖永壮一博士記念大賞」という大変栄誉ある賞を賜り、心から感謝申し上げます。

昨年度、本コンクール・グループ部門で最優秀賞を獲得された先輩方の姿に憧れ、森林・林業・木材について専門的に学ぶ高校生として、私自身が抱いている「大志を1,600字に込めました。生まれ育った故郷・熊本県人吉球磨地域の豪雨災害からの復興支援ボランティアに携わる中で、私自身が成長できた部分と地域の可能性を掘ることができた部分を感じ取って頂けると嬉しいです。また、読者の皆様の身近にある地域資源を見つめ直し、少しでも活用へのきっかけとなることができれば幸いです。

本受賞は、私にとって一生忘れることができる大切な記憶になることでしょう。皆様から頂いた有難い評価を自信に変えて、これからも夢に向かって精一杯努力し続けていきます。



福岡県立ありあけ新世高等学校

校長 與賀田 敦

この度は二年連続「優秀学校賞」受賞の栄誉を賜り、心より感謝申し上げます。

本校は、一人一人の興味関心に応じた学びを通して、主体的に自分の人生を切り拓き、地域で活躍できる人材を育成する日本一の総合学科高校を目指し、生徒・職員があらゆる教育活動に全力で取り組む学校です。校是「新生生よ、人生のプロデューサーたれ!」のもと、キャリア教育を柱に、自己表現力やコミュニケーション能力の向上に努めています。

本校では、例年全校生徒が小論文コンクールに挑戦します。自ら考え表現し、他者に伝える力が大切であり、それを育む機会と捉えるからです。生徒たちは自分自身を振り返り、目標を定め、進路実現につなげています。今回の受賞を契機に、今後さらに志を高く持ち、社会を担う優秀な人材を育成していきます。

終わりに、関係各位に深く感謝申し上げますとともに、貴財団の今後益々のご発展を祈念申し上げます。

学校法人椋山女学園  
椋山女学園高等学校

校長 小島 寿文

この度は「優秀学校賞」の栄誉を賜り、深く感謝申し上げます。

本校では、主体性を持って新しい未来を切り拓くことができる人間の育成を目指して教育活動に取り組んでおります。今回論理国語の授業において、貴コンクールのテーマ「今こそ大志を語れ」に取り組みさせてい

ただくことで、生徒たち自らが問題提起し、主体的に参加する学習活動を展開することができました。このような機会を与えていただきありがとうございました。今度の受賞を励みとして、今後も自立した心豊かな人間性を育む教育を実践し、未来を切り拓くことができる人間の育成に努めてまいります。

終わりに、関係者の皆様に感謝申し上げますとともに、貴財団のますますのご発展を祈念申し上げます。

学校法人信愛学園  
浜松学芸高等学校

校長 内藤 純一

「優秀学校賞」受賞の報に驚きと感謝の気持ちでいっぱいです。

本校では高2生全員が論理国語の夏期課題としてコンクールに参加しました。小論文というスタイルでの執筆が初体験という生徒も多数いたようです。

2年生は自分の未来や将来について考えを深めていく時期でもあるため、これまでの生活や今後の生き方を考える契機になればという期待から課題として選定しました。「今こそ大志を語れ」というテーマに当初は戸惑う様子も見られましたが、「大志」を個人的な思いに引き寄せたり、関心のある社会的現象について提言したりするなど、それぞれ「大志」について論じることができたと思われま。完成度は様々でしたが、自分にかき書けない言葉で自身のことを表現する貴重な機会になったと感じています。

結びに、貴財団をはじめ、関係各位の益々のご発展を心より祈念しております。

# 審査にあたって



帝京大学文学部  
日本文学学科教授  
審査委員長  
中沢 紀子

第26回高校生小論文コンクールでは、国内外から一万を超す作品の応募がありました。

審査において議論の焦点となったのは「大志」がどのように熱く語られているかという点でした。最終審査に残った作品はどれもすばらしいものばかりでしたが、夢の実現への意志の強さや活動の将来性という点で、個人部門では「心に木を植える」この手で拓く!地域と私の可能性」が沖永壮一博士記念大賞に、グループ部門では「aroma Project ハーブウオーターの活用について」が最優秀賞に選ばれました。心揺さぶられる作品があった一方で、問題設定が不明瞭なものなど、読者に内容が伝わりにくい作品もみられました。

最後になりましたが、小論文コンクール開催にあたり、関係者の皆様より多大なご尽力を賜りましたことに厚く御礼申し上げます。

令和6年度

# 第35回筑南ジュニア美術展 九州芸文館にて表彰式を行う

南筑後地区の園児・小・中学生までを対象とした筑南ジュニア美術展が開催された。応募総数7,924点の作品より審査の結果256点の作品が入賞した。10月19日(土)午前10時半より九州芸文館にて理事長賞受賞の32名の皆様の表彰式が行われ子どもたちに賞状や副賞などが授与された。

なお、入賞作品は、財団会館内ホールに展示していますので参観ください。

(入賞者一覧は財団通信90号で既に発表しています)



## 公開講座



帝京大学福岡医療技術学部の先生方より健康講座を開いて頂きました。

## 学習クラブ



おもなクラブは、グランドゴルフ、ちりめん布工芸、柳川さげもん等、実施しています。

## 学習講座 ゆめ夢クラブ



毎週土曜日、英会話、美術教室を行っています。

- ・柳川まり
  - ・ヨガ
  - ・親子書道
  - ・写経等
- 実施しています。

※ 詳細は財団事務局へ